

## 貴重な個人コレクションふたつ、同時公開！

2008年に寄贈された、それぞれ特徴のあるふたつのコレクション「麻生三郎コレクション」「北川原コレクション」を鎌倉館、鎌倉別館で同時に初公開します。



麻生三郎  
生田のアトリエにて 1987年



北川原コレクションより  
海老原喜之助 《川辺にて》 1962年

鎌倉館で紹介する「麻生三郎コレクション」は、人間存在への深い洞察を画布に刻んだ画家麻生三郎(1913-2000)が自ら共感を寄せた画家と彫刻家たちの作品群です。ベン・シャーン、アルベルト・ジャコメッティ、オーギュスト・ロダンらの作品、日本の民衆絵画大津絵などを画家はいつも手元に置いて大切にし、ときには自らの創作に示唆を受け、刺激を受けつづけました。53点を数えるその作品は、画家の個性的な眼と感覚で選ばれ、深いところで自分の創作と響き合っていました。今回は、画家愛蔵のコレクションを麻生三郎自身の作品と合わせて展示し、彼を理解し、その創作の隠された回路を考えると同時に、彼のコレクションに含まれた作品のすばらしさも堪能していきたいと思います。

鎌倉別館で公開する「北川原コレクション」は、美術愛好家が日々身近で好きな絵を楽しむという、もっとも素直な、そして贅沢な望みを凝集させた作品で成り立っています。72点の作品は、どれもが小品で、日本、ヨーロッパの画家たちが、小画面のなかに個性豊かな感覚を煌かせて、収集家の洗練された趣味をあらわにしています。

これらふたつのコレクションは、それぞれの貴重さと特徴を際立たせ、当館の作品収集活動の歴史のなかでも特筆される重要なものとなっています。同時公開のこの機会に是非、充実したその内容を十分味わっていただければと思います。

# 北川原コレクション

The Kitagawara Collection



鳥海青児《修理のある家 沖縄風景》1959年頃

## 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

2009年9月19日(土)～12月20日(日)

休館日 : 月曜日(ただし9月21日、10月12日、11月23日は開館)、  
9月24日(木)、10月13日(火)、11月4日(水)、11月24日(火)

開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 : 一般250円(150円)、20歳未満と学生:150円(100円)、65歳以上と高校生:100円

※( )内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下、障害者の方は無料です。

※ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日)に、18歳未満または高校生以下のお子様と一緒に来館いただいたご家族の方は、展覧会を全員無料でご覧いただけます。(今回は10月4日、11月1日、12月6日)

会場: 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

主催: 神奈川県立近代美術館

■お問合わせ先 神奈川県立近代美術館 鎌倉  
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53  
tel.0467-22-5000 fax.0467-23-2464  
広報担当: 山内舞子 展覧会担当: 橋秀文

■このプレスリリース、および展覧会情報は、  
美術館ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



長谷川利行《新宿風景》制作年不詳



清宮質文《近づき悲しみ》制作年不詳

## 北川原コレクション

神奈川県立近代美術館は、昨年と今年の2年にわたり北川原京子氏から寄贈を受けた作品をお披露目することを目的として北川原コレクション展を開催いたします。このコレクションは、ルオーなどヨーロッパの画家の作品と近代日本の洋画作品合計72点から形成されています。これらの作品は収集家が自宅を飾り、日々ゆっくりと楽しんでいたものです。特にこのコレクションの柱となる近代日本の洋画では、鳥海青児の風景画、朝井閑右衛門のバラの絵、長谷川利行の7点、脇田和の作品、三岸節子の大作「花」、小山敬三の「紅浅間」などが目を引きまします。なかでも、長谷川利行の人間味にあふれた主観的な表現による風景画や肖像画が、このヒューマニズムにあふれたコレクションの特色を際立たせています。さらに当館に今まで作品がなかった香月泰男や青山熊治、北川民次、古茂田守介、松田正平といった個性あふれる作家の作品も含まれています。また、作家の神秘的な情念が画面にみごとに塗り込められた山口薫の「鶯の塀と落書きの牛」など知られざる名品がいくつも数えられます。

北川原氏夫妻は、近現代の画家たちの展覧会をじっくりと取り上げてきた鎌倉の近代美術館に、長い間、共感を覚えていたといえます。そうした当館の企画および収集方針に北川原氏が賛同し、このたび愛蔵された貴重な作品を一括して寄贈してくださいました。このような寄贈によって、当館の近代絵画のコレクションはより厚みのある豊かさを得ることができました。これら質の高い新収蔵の数々を堪能していただければ幸いです。

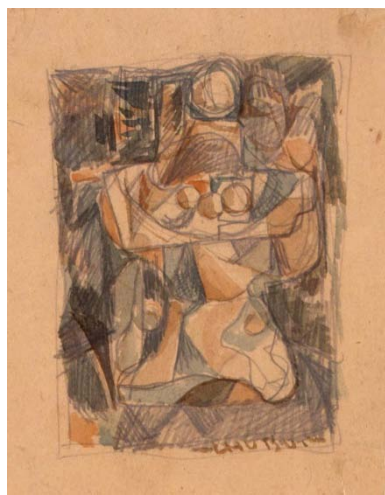
担当学芸員によるギャラリートーク

10月17日(土)、11月28日(土) いずれも 14:00 から 30分程度

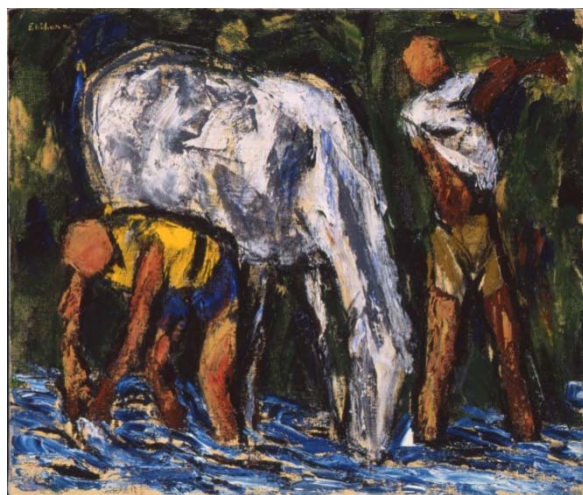
申込不要・無料(ただし展覧会観覧券が必要です)



三岸節子《花》制作年不詳



今西中通《静物》水彩、制作年不詳



海老原喜之助《川辺にて》1962年